

話題 其の7: ヨルダンは貧しい国?

NHKワールド放送で、この夏の異常な暑さが毎日のように伝えられます。

9月に入ってから残暑が厳しいとか・・・。残暑お見舞い申し上げます。

さて、今回はヨルダンという国は一体貧しいのか? いや、そうでもないのか? 一緒に考えてください。

7月に入ってからヨルダンの首都アンマン市近郊の企業訪問を始めました。訪問の目的は、私の勤務する教育局傘下の職業訓練センター卒業生の追跡調査が主です。これまでに 15 社を訪問し、企業主の方に卒業生の企業貢献度や訓練センターへの要望など聞き取ってきました。聞き取りの中から面白いことに気づきましたので紹介しましょう。

各企業で卒業生の初任給を聞いたところ 90~140JD(ジョルダン ディナール)でした。日本円にして 21,000~24,500 円です。(1JD は約 175 円) さて、これは高いのかどうか? 日本人的感覚ではもちろん驚くほど安いですよ。職場の友人 3 人にお米の価格を聞いたところ彼等が日常食べているお米は 0.4 JD/kg でした。また先日スーパーマーケットで安売りしていたお米は 0.238JD/kg でしたので、お米の価格は、この平均値の 0.319JD/kg と考えましょう。

ヨルダン人の高卒程度の初任給 (120JD として) で買えるお米は 376kg となります。ちなみに日本人の高卒初任給は、「平成 12 年度 労働統計」から、男女平均が 153,100 円です。お米が 400 円/kg とすれば 383kg 買えますね。

驚いたのはいずれも毎日 12.6kg 前後のお米を買えることでした。豊かさをお米の価格だけで決めつけることは出来ません。住宅費や光熱費や教育費など生活費が給料に占める割合は日本と大きく違うはず。そこで、1 例として、マクドナルドで比較してみましょう。

8月3日に家族と食事した際に記録してきたマックの価格は、フィレオフィッシュのバリューセットが 1.99JD で月給 120JD では 60 食分買えます。日本の場合それは 500 円ですから月給 153,100 円で 306 食分買えてヨルダンの 5 倍以上に相当します。ついでにマックの他のメニューも価格を紹介しておきます。ハッピーセット = 1.65JD(¥290)、コーク = 0.45JD(¥79)、ホットコーヒー = 0.35JD(¥61)、

ハンバーガー = 0.39JD(¥68)、ビックマック = 1.39JD(¥243) でした。

(1JD=約¥175 として計算しています) 皆さんもマックに行ったら比べてみて下さい。

私にとって、ヨルダンは決して貧しい国には見えません。多分それはフィリピンやネパールと比べるからだと思います。

昨年5月にカトマンズに行きましたが、マックはまだ出店していませんでした。今年の1月末に行ったマニラのマックでのメモによると、ハンバーガーが 18P で約 43 円、チーズバーガーが 27P で 65 円、コークのMサイズが 16P で 38 円でした。1P (ペソ) を約 2.4 円で計算しています。私がマニラに住んでいた頃「フィリピンの庶民にとって、マックは月に一度の贅沢なんだろうね。」と友人と話したことがありました。

いずこの国も、豊かさを測るのは困難ですね。貧しさ測定もまた難しいでしょう。外から見えるもの、内に入らないと見えないもの、数字で比べられるものと比べられないもの等様々ありますから。そして勿論、貧しさや豊かさが直接『幸せか不幸か?』という判断基準にはなりません。ネパールにもフィリピンにも幸せな人がいっぱい居ましたから。

調査は 100 社目標ですので、今後も興味深いものがあつたらお伝えしましょう。

執筆及び編集: 久米 篤憲